

令和元年度 第二回白根飯野小学校学校関係者評価書

学校関係者評価委員会

- 1 日時 令和2年1月24日（金）午後7時00分
- 2 場所 白根飯野小学校 図書室
- 3 出席者 ○学校関係者評価委員
市川和郎（元校長・学校評議員）
飯野 久（学校評議員・南アルプス市議会議員）
飯田哲夫（元校長・学校評議員）
相良明彦（学校評議員・PTA 会長）
石原博道（飯丘地区自治会長）
秋山 登（飯野地区自治会長）
○学校代表
岡こずえ（校長） 窪田正幸（教頭） 深澤和博（教務主任）
- 4 欠席者
- 5 内容及び次第 進行：深澤教務主任

I 次第

- 1 始めの言葉
 - 2 学校長挨拶
 - 3 自己紹介
 - 4 議事
 - ① 2学期末の学校評価（教職員・保護者・児童）の集計結果の報告
 - ・自己評価について 提案者：教頭
 - ・保護者アンケートについて 提案者：教頭
 - ・児童アンケートについて 提案者：教務主任
 - * 上記資料は別紙参照
 - ② 意見交換
 - 5 終わりの言葉
-

II 学校関係者評価委員会報告概要

本校の学校評価は、学校教育目標の実現（学校経営方針の実現に向けた本年度の努力点）のための取組状況を、教職員による自己評価に加え、保護者・児童によるアンケート調査結果を利用する中で、それぞれの立場を踏まえるとともに、これらに関わる設問に寄せられた意見や、日常的に行っている児童観察および意識調査も加味して分析し考えている。

【1】評価基準

全体傾向を把握するため、A B評価を肯定的評価とし、それらの合計が80%を超えている場合は『満足できる状況』と判断した。また、C D評価を否定的評価とし、それらの合計が20%を超えている場合は『改善の余地がある状況』と判断した。

(A:そう思う B:だいたい思う C:あまり思わない D:そう思わない E:わからない)

【2】全体的な傾向

教職員による自己評価、児童・保護者によるアンケートを通じて、3者ともに、ほとんどの項目でA B評価の合計が80%を超え、各アンケートの全体平均においても教職員(前期比5%増:93%)、児童(前期比1%増:平均92%)、保護者(前期比2%減:平均87%)と肯定的な評価がされていた。

一方、C D評価の合計が20%を超えたものが、自己評価において前期には5項目あったが、後期は1つもなかった。また、児童についても同様に、20%を超える否定的評価は1つもなかった。

保護者については、

- ・子どもは、家庭でも宿題や自主学習・読書など学習する習慣がついている。

(前期比1%増:26%)

- ・子どもは、安全を意識し登校している。(前期比4%増:21%)
- ・P T A活動に進んで参加している。(前期比4%増:29%)
- ・お子さんを地域の行事に参加させている。(前期比2%増:23%)

の4項目であった。

学校生活全般についての調査項目(以下の①②)では、ともにA B評価の合計が90%を超え、非常に高い数値である。これらのことから、現在の本校は、概ね『満足できる状況』にあると判断できる。

- ①児童:学校は楽しいですか。(前期比4%増:96%)

学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友達はいますか。

(前期比1%減:94%)

- ②保護者:子どもは、白根飯野小学校に楽しく通学している。

(前期比2%減:94%)

【3】個別の分析

【I 世界に通じ社会を生きぬく力に関して】

教職員が肯定評価したものは、3項目中すべての項目であり、いずれも90%以上と高い評価であった。また、前期に課題となっていた『児童が、自分の考えや自由記述を明るく、表情豊かに伝え、理解しあえる喜びを体験し、異文化と共生する態度を養うことができたか（英語教育）』については、前期比22%増となり、大きな改善が見られた。これは、学校教育目標や教育重点を前期に引き続き高く意識すると同時に、日々の実践において自己肯定感を高めさせたり、ALTと連携しながら、英語を身近に感じたり外国の文化に触れたり理解したりする学習を重ねたりしてきた成果とみられる。

今後も、子どもの実態を適切に見極めながら、自己理解・他者理解を促進させるとともに、英語教育も含めて、他者とのコミュニケーションを円滑に行っていく意欲や技能の向上を図っていきたい。

保護者コメント

○去年までに比べて、学校全体の一体感がとても感じられてよいと思いました。先生方も子どものことや子どもの家族のことなど困っていることがあれば相談にのってくれてとても安心して子どもたちも毎日楽しんで学校に行っています。

○いつもご指導ありがとうございます。あと半年よろしくお願い致します。

△学校での出来事を聞いても話してくれないので、どのように過ごしているのかわからない。ときどき「ぼっちだ」というようなことをつぶやいているので友だちと何かあったのかなと思うが、聞いても「別に」と言う。臨機応変な態度、行動ができていないので学校でなじめているか不安。

★回答

学習や行事、友達同士の事など、子どもたちは毎日の生活の中で何かしらの悩みを抱えてしまうことがあります。学校でも、担任が中心となって子どもたちの日々の様子を観察し、声掛けをしています。ぜひ、御家庭でも子どもたちとの会話を十分に行えるよう御配慮いただくとともに、気になることがありましたら、担任に伝えていただきたいと思います。学校と家庭がお互いに情報を共有しながら対応していくことが、子どもたちのよりよい成長につながると思います。

【Ⅱ 確かな学力と自立する力について】

教職員が肯定評価したものは、5項目中すべての項目であった。保護者評価の『3 子どもは、学校の授業に進んで参加し、がんばっている。(92%)』と児童評価『授業はよくわかりますか。(94%)』の双方の評価も一致した結果となっており、前期に引き続きその成果を確かめられている。また、前期に課題が見られた『ペア学習、グループ学習を有効的に取り入れ、伝え・聞くなど言語活動を充実させることができたか。(前期比 19%増：88%)』、『子どもの日常生活や好奇心に関わり、興味関心をかき立て、学校から家庭に発展する学習の工夫に努めることができたか。(前期比 15%増：94%)』、『授業を公開し、職員の学び合いを活発にして、互いに指導力を高め合うことができたか。(前期比 28%増：81%)』と、大きく改善した様子が見られる。日頃より「主体的・対話的で深い学び」を強く意識しながら指導計画を立てるとともに、「ペア学習、グループ学習等の学習形態の有効的な活用の工夫」「言語活動の充実」「教材の工夫」といった具体的な実践に取り組んできた教職員の思いが表れた結果であると考える。また、2学期は、研究授業による教職員同士の学び合いも活発に行われたことが高評価につながった要因となっている。

一方、保護者評価において、『4 こどもは、家庭でも宿題や自主学習・読書など学習する習慣がついている(前期比1%減：74%)』の項目については、前期と同様に課題を感じている保護者がいることがわかる。月に一度、「うちがくがんばり週間」を1週間の期間で設定し、学年便りで保護者にも協力を呼びかける取り組みを行ってきたが、今後も引き続き、家庭と連携しながら進めていく必要がある。県教育委員会で示している「学びの甲斐善8か条」の啓発も行いながら、「学校から家庭に発展する学習の工夫」についても考えていきたい。また、児童アンケートでの「自分の携帯ゲーム機や音楽プレーヤーの所持率(前期と同じ：69%)」、「自分の携帯電話・スマートフォンの所持率(前期比2%増：44%)」「家庭内での携帯電話・スマートフォン使用に関するルール設定(前期と同じ：76%)」からも、家での学習以外の時間の使い方が適正であるかについて、折に触れて振り返らせていきたい。

保護者コメント

○学習意欲が少ない子供に取り組んで頂いて感謝しています。

△学校へ行って帰ってくるので精いっぱい、なんとか宿題はしているが読書や自主勉強を毎日するのは困難な状況。余裕を持つことができない。個人差なのか。

★回答

宿題の量は、担任が家でやりきれる量を考えて出していますが、かかる時間はもちろん個人差があります。家庭学習の目安の時間を提示させていただいていますので、お子さんの実態に合わせて取り組んでいただくと良いと思います。

【豊かな心と自己実現を図る力】

教職員が肯定評価したものは、7項目中すべてであった。中でも、「すべての児童に居場所のある学年・学級等それぞれの立場で学校づくりに努めることができたか」「基本的人権と個人の尊厳を尊重し、いじめや不登校に取り組むことができたか」については、肯定的評価が前期に引き続き100%となった。また、「相手の立場に立って考える体験を重ね、自分がされて嫌なことを、言ったりしったりしない子どもを育てることができたか。(前期比5%増:95%)」も高評価となっており、人とのつながりを大切にしながら安心して過ごせる学年学級づくりに取り組んできた成果が表れている。関連する保護者評価においても『5子どもは、学校・学年・学級で理解され、心の居場所を持っている。(前期比1%減:89%)』『6子どもは、人の心を思いやり、豊かな心を育てている。(前期比3%減:93%)』と約9割の保護者が肯定的評価をしている。また、合わせて関連する児童評価として、『学校は楽しいですか。(96%)』『学校に仲よしの友達はいますか。(94%)』とこちらも9割の児童が肯定評価している。

一方、前期に課題となっていた「読書や文化芸術体験を通じた、辛い時苦しい時にも強く生きる心の育成(前期比8%増:83%)」については、評価自体は向上したが、まだ十分とは言えない状況であると考え。今後も、子どもたちの発達段階に適した書籍や芸術に出合うことで、人々の考え方や行動に共感し、その思いを自分自身の生活に落とし込んでいく体験を仕組んでいくことが大切であると考え。

保護者コメント

○グリーティングタッチはとてもよい活動だと思う。

△忙しいと思いますが、どの子に対しても子どもの意見・言葉に極力耳を傾けてほしい。

★回答

一人一人の子どもを大切に、その言葉や行動を気にかけてながら対応していくことは、教師の務めです。ただ、時としてどうしても時間が十分に取れず、その場での対応が満足にできなくなってしまう場合も確かにあります。また、意見や考えを聞いて理解したとしても、教育的な判断等で受け入れることができない場合もあります。そのような場合には、子どもたちに丁寧に説明するようになりたいと思います。ぜひ、御家庭でもお子さんと学校のことについて話す時間を多くとっていただき、お子さんの考えを聞いていただくと良いと思います。その上で、担任に話をしておいたほうが良いと判断された場合は、遠慮なく御連絡下さい。学校と家庭との連携がとても大切ですので、安易に担任批判や学校批判で済ませてしまうのではなく、連絡を密にしながらともに共通理解を図っていきます。

【健康で健やかな生活を営む力】

すべての項目（2項目）において教職員が肯定評価している。しかも「運動が苦手な児童への達成感を味わわせる指導や運動習慣の形成(前期比 1%減：94%)」「健康についての理解と生活習慣の形成(前期比 5%増：100%)」と高評価となっている。

関連する保護者評価においても『2子どもは、仲間と協力し、行事や活動に粘り強く取り組んでいる。(前期比 4%減：94%)』『11 ご家庭では、子どもに善悪のけじめを教え、しつけに力を入れている(前期と同じ：92%)』『12 ご家庭では、早寝、早起き、朝ごはんに取り組んでいる。(前期比 3%増：90%)』『13 子どもとの触れ合いの時間を持つようにしている。(前期比 3%減：92%)』と、多少の増減はあるものの、全てにおいて90%を超える肯定評価を得ている。

児童評価においても、『そうじ当番がしっかりできますか。(前期比 2%増：98%)』『学校の約束や決まりを守っていますか。(前期比 1%減：95%)』となっており、けじめを持って取り組めていることが伺える。特に清掃活動においては、全校的な無言清掃への取組が少しずつ定着していることが見てとれる。このことについては今後も徹底して行っていく。

一方、保護者評価の『10子どもは、安全を意識し登下校している。(前期比 4%減：79%)』においては、様々な御意見をいただいている。子どもたちの登下校における規律やマナーについての指導が喫緊の課題であることを全職員で確認し、児童の安全意識を高める指導を強化していきたい。

保護者コメント

△複数下校で「子ども自身の安全意識」が育っていないように感じる。常に親の監視下で登下校するゆえのトラブルもあった。小学生になっても、こんなに親がべったり張り付き続けるものなのか。

△登校中、広がって歩いている班があります。

△登下校が少し心配です。付き添える時は付き添いますが、ケンカしたり遊んだりする班でそろっていくのが大変な時があります。

△車が通る頻度が違うからだと思うが、通勤の際、他学校の子どもたちの方が道の渡り方やたてに並んで気を付けて歩く姿が徹底されていると感じた。比べてうちのグループは横に広がって歩くし、渡るときも旗をあげることもなく、意識の違いが明確です。子どもに言葉をかけてはいますが、なかなかという感じ。旗を持っている上の学年の子も少し意識を変えてほしい。

△一時は交通にとっても気をつけて歩くのですが、少しずつなあなあになり、危険に対する意識が低いと感じます。上の学年の子が班長旗をきちんと使っていないか、横に広がって歩いたり、子どもに言い聞かせはしているが、気をつける気持ちが見られず心配です。

△朝の登校がバラバラなので、先生が子どもたちに声をかけてほしい。
△車が通ろうが横並びに歩き、にらむ、あいさつをしても返事なしの子が一部ある。狭い所はなるべく1列になって歩いてほしい。

★回答

登下校中の児童の安全確保において、多くの保護者や地域の方々に御支援をいただいていることに、日頃より大変感謝しています。しかし一方で、「大人に見守られている」という安心感や、「車がよけてくれる」などの自己中心的な捉え方から、児童自身が「危険を予測する」「危険を回避する」といった主体的な意識が薄らいでいるといった実態がわかりました。登下校指導は、毎週水曜日の集団下校時に地区担当教師が行っていますが、今後も、歩き方・道路の渡り方・班長や高学年の指導・見守ってくれる方々への感謝等、丁寧に指導していきたいと思えます。今後とも、子どもたちの安全確保への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進】

教職員が肯定評価したものは、4項目中全ての項目であった。特に、「コーディネーターを中心にした校内支援体制の効果的な運用(前期比 11%増：100%)」「個人差を尊重し合う学級づくりと学習指導(前期と同じ：100%)」は、全職員が肯定的な評価をしている。また、「個別の実態把握とニーズに応じた指導(前期比 5%減：95%)」「保護者相談の実施と連携指導(前期比 6%減：94%)」と微減ではあったが、高い肯定評価となっている。

前期からの継続として、校内研究の中で児童の情報交換や日常的な支援体制の見直しなどを行い、一人一人の教育的ニーズにできるだけ対応できるよう取り組んできた。今後も、教職員間の情報共有を密にしながら指導・支援にあたっていきたい。

【安全に安心して学べる教育環境づくりの推進】

教職員が肯定評価したものは、2項目中全ての項目であった。いずれも95%と高評価であった。一方で、関連する保護者評価は、「⑦学校は、情報発信（連絡帳、おたより、ホームページ等）として、子どもの教育活動を伝えている。（前期比 3%減：88%）」「⑧学校は、教育活動に適した施設設備を整えている。（前期比 5%減：88%）」「⑨学校は、授業参観・行事等学校開放に努め、保護者と連携し、その意見に耳を傾けている。（前期比 6%減：88%）」となっている。88%と数字自体は高いが、肯定的評価が減少していることは、改善の余地があるということである。学校からの情報発信については、前期にもホームページに関する要望が寄せられ、2学期以降は定期的に更新するよう取り組んできた。行事予定表や全校行事についての情報を掲載してきたが、今後も無理のない範囲で情報発信を行っていきたいと考えている。また、授業参観等の学校開放については、2学期は運動会・児童発表会の公開を行ってきた。保護者の方々の御感想も把握しているので、来年度以降に生かしていきたい。

関連する保護者評価2項目においては、「⑭PTA活動に進んで参加している。（前期比 4%減：71%）」「⑮お子さんを地域の行事に参加させている。（前期比 2%減：80%）」も、肯定評価の割合が少し低い結果が出た。保護者の方々も多忙な中でPTA活動へ御協力いただいているので、今後も内容を精査しつつ、子どもの活動を支えるPTAにしていきたい。

保護者コメント

△ホームページ更新、忙しいとは思いますが、昨年度のように更新してくれると親も楽しみが増えます。よろしくお願いします。

△もっとホームページを活用したいです。

△もう少し学校の様子を教えてくださいと嬉しいです。子どもには毎日聞いていますが。

△学年だよりですが、授業等で使用する持ちものの記入はあるが、その後がないので写真を載せて報告してほしいです。（工作中、作成中）他の学校ではあるそうです。

★回答

ホームページの更新に関しましては、昨年度のように頻繁に更新することができず、大変申し訳なく思っております。職員の体制が昨年度と変わり、更新作業を専門で行う担当を置くことができないことが理由の一つです。今後、学校だよりや行事予定表などは、その都度掲載していきますが、学年の活動の様子などは、各学年のお便り等を御活用ください。

また、学年便りにつきましては、紙面の制約上全てを載せることはできませんが、学年便りを発行する際に、可能な範囲の中で行っていきたいと思います。

△学校行事（児童発表会等），休日に行ってほしい。平日に行うと仕事で子どもの頑張りが見られないので。

★回答

各行事の実施日につきましては、年間学校行事や各学年行事、取り組み期間や児童の実態等を考慮しながら設定しています。特に、休日開催になった場合の児童の疲労や集中力の持続等は、課題の一つです。運動会につきましては、最大の学校行事であり、地域の方々の参加も呼び掛けていますので、休日の開催を継続していくことになると思います。一方児童発表会につきましては、内容の検討を行う中で、来年度は平日での開催を予定しています。詳細につきましては、来年度になってからお知らせします。

△入学前に1部2部3部に分かれ、学年役員を決めました。1部は5人しかおらず、今は1人引っ越し、4人でPTA会長と6年時の学年役員を決めないといけないようです。負担が多く、どうにかならないでしょうか。

△PTA活動(役員)の負担を平等にしてほしい。

△地域行事への参加については、地域格差があると思います。

★回答

PTAの組織につきましては、検討する時期に来ていると思います。ただ、慎重に考えていかなければならない課題でもありますので、役員の皆様からも御意見をいただきながら進めていきたいと思っています。

△帰宅時、送迎の車が駐車するところ（白線が引いてある所）以外に多数停めてあり、奥の車が出られないことが増えています。学童の迎えの車も体育館前に停めていて、他の車が出られないことがあります。学童の迎えは学童の前に停めてほしいです。

★回答

児童の送迎については、駐車スペースが限られている関係上、御不便と御迷惑をおかけしています。学校としては、保護者の方々の譲り合いやマナーを心がけていただきながらお使いいただくことをお願いするしかありません。子どもたちや保護者の皆様が危険な目に合わないよう、相互の安全確認と迷惑駐車の防止への御協力をお願いします。

△夏休みのプールですが、プールサイドの温度が高すぎるため中止となることが多く、プールに入れないとやることはないというか屋外では暑くて遊べないし、学童でも部屋にこもりっきりになってしまうし、運動も不足しがちです。プールサイドの温度が上がりすぎないように、何か工夫、設備などしていただき、なるべく子供たちがプールで泳げるようにしていただけると嬉しいです。

★回答

ここ数年、熱中症指数が上昇した場合は、子どもたちの健康上の安全を第一に考え、やむを得ずプール開設を中止するという措置をとっています。今後も、この傾向は続いていくのではないかと予想しております。今年度、プールサイドの改修を行いました。熱中症指数をどの程度おさえられるかは未知数です。いずれにしても予算の関係もあり、プールサイドの温度を低下させるための設備の改善はすぐにはできません。できるだけ多くプール開設をしてあげたいという思いは学校も同じですが、来年度も子どもたちの安全な水泳学習のためにも、状況によっては中止という判断をせざるを得ないことを御理解ください。

△トイレのにおいが気になります。新しい設備を希望します。

△学校設備についてですが、トイレの衛生管理の改善を求めます。学校のトイレが不潔であるという理由で、学校トイレの利用を控えているようです。身体的負担になる為改善していただけるよう何卒よろしくお願い致します。

△体育館のピアノを新しくしてほしいです。(音が響かない為)

★回答

学校設備の老朽化については、市教育委員会にも修理をお願いしながら、学校環境の改善を進めているところです。大規模な工事や大型の備品には多くの予算が必要となることから、すぐに改善できない箇所もあるのですが、学校全体を見ながら今後も要望をしていきたいと思っております。

